

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	1. 市史編さん刊行事業費		
項	1. 総務管理費	細事業名	2. 佐倉市史調査刊行事業費		
目	4. 市史編さん費	担当課・係	総務課	(執行課: 総務課)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	6,759	要 求									6,759
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/個性ある文化を創造し、継承するまちづくり/『佐倉市史』を編さん・刊行						
	『佐倉市史』の編さん・刊行に関する業務	施策体系コード	03-05-02-10-45			事業番号	75-1		
	『佐倉市史』の編さん・刊行のために資料を収集し、整理・保存します。また、市史編さん委員会専門部会の開催・議題調整を行います。	総事業費	25,600千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
			3,360	8,640	3,360	3,360	6,880		
		(事業実施に関する根拠法令) 佐倉市史編さん委員会条例(平成10年条例第2号)							

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 『佐倉市史』別巻「考古編」の編さんを行う。平成22年度は、資料調査及び原稿執筆に関する予算について計上する。	(事業の目的) 佐倉の通史として既に刊行されている『佐倉市史』巻一～四、並びに別巻としての「民俗編」に続くものとして、別巻「考古編」を編さんし、刊行する。この刊行により、佐倉市史としての記録を保存して後世に伝えるとともに、市民への歴史普及を図る。	(事業の効果) 『佐倉市史』を刊行することにより、市民をはじめとして広く郷土史関係資料等を提供することができる。このことにより、佐倉学の推進等の市民等が自ら郷土を学ぶ手助けとなり、郷土意識の高揚を図ることができる。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項) 原稿執筆を開始し、そのための謝礼金を計上した。 また、年代測定のため、地質調査を行うので、その調査委託料も計上した。